

会議録：「第6回恵那市産業振興ビジョン検討部会（商業・観光部会）」

日時：平成29年11月6日（火曜日）13：30～

場所：恵那市役所会議棟中会議室A・B

参加者：別紙参照

1. 開会

○観光交流課 「第6回恵那市産業振興ビジョン検討部会商業・観光部会を始めます。」

2. あるべき姿と現状の掘り下げ

商業・観光部会の主なテーマ「集客できる観光資源の現状と展望」

○事務局 「前回の部会では、市内の集客できる観光資源を洗い出し、地図上と年間スケジュールに落とし込みました。恵那市のどこで、どんなイベントがあり、どれぐらいの人数が来ているのか確認しました。更に知っている観光資源があれば書き足してください。」

（追加項目）恵南地区イルミネーション、岩村秋祭り、わんぱく相撲

○委員の主な意見

- ・春、秋は比較的色彩んなイベント等がある。何もない時期の合間を埋めることが課題である。
- ・ある程度のターゲットを絞って観光ルートを作っていくといい。例えば、バイク（ツーリング）のルートを作って、足りないものを足していくといいのでは。
- ・車で来る方も多い。
- ・恵那に1時間ほどで来られる名古屋圏の人たちをターゲットにするといい。
- ・えなてらすには、名古屋からも買い物に来る人がいる。
- ・名古屋から電車に乗り、恵那駅で下車。えなてらすで買い物し、電車で中津川市物産館へ買い物に行く。この人たちを駅周辺だけの行動ではなく、もう少し広げるといい。
- ・核になるものがない。例えば広重美術館を核に、「あご・あし・まくら」でつないでいくといい。**あご=食べる あし=見てまわる まくら=寝るところ**
- ・資源はたくさんあるので整理し分かりやすくするといい。
- ・核になりそうなものは、歴史では中山道、岩城下町、食では手作り味噌（マルコ醸造では今年17回講座を実施している）安心、安全な味噌、自然では体験。
- ・体験でくると「食」、「林の体験」の二つになるのでは。
- ・生ハムを作るには飯地キャンプ場が適している。生ハム作り体験を実施したい。
- ・倉庫ビジネスがいいのでは。都会に住む人の「ワイン」を倉庫で預かるなど。

- ・自然でいうと、今の時期は紅葉。春は桜。
- ・紅葉は、明智町の下ヶ淵、恵那峡、上矢作町の達原溪谷。
- ・桜は、明智町の遠山桜、阿木ダムなど。
- ・上矢作町には巨木ならたくさんある。
- ・巨木に対しての体験は林業部会での検討が必要。
- ・恵那峡はストーリーができています。南木曾に桃助の邸宅があり、恵那で大井ダムを作っており、木曾川に沿ってストーリーがある。
- ・例えば神社巡り。3箇所神社を巡ると縁結びに良いなど、「健康」や「恋愛」でくくるといい。
- ・明知鉄道も利用するが、駅に降りる目的を作ることが大事。
- ・ターゲットごと、テーマ別に考える必要がある。恋愛⇔母親・娘⇔プログラム⇔食、健康⇔シニア⇔プログラム⇔食（精進料理など）
- ・現状の観光客数の1.5倍ぐらいの数値目標も入れ、地域にとらわれないよう考える。
- ・笠置山には湧き水がたくさんあるなか、一箇所海洋深層水が出るらしい。富山湾とつながっているとされている。
- ・恵那峡には水晶がある。国際ホテルのお風呂には、クリスタルの湯がある。
- ・水晶なら、旧木の実トンネル付近に掘りに行ったことがある。
- ・「ラジウム温泉は健康に良い」など具体的にうたわれているか。ペトログラフは。
- ・ラジウム温泉は健康につながる確信はない。ペトログラフは現在活動（研究）している人はいない。

○事務局 「時間になるので今日はここまでとします。次回までに、ターゲット・テーマ別に地域の観光資源を生かした観光ルートを考えてきてください。具体的な数値目標も入れてください。後日、記入様式を送付します。」

商業・観光部会まとめ

テーマ「集客できる観光資源の現状と展望」

■より長く滞在してもらい、お金を落としてもらうための対策

- ・ターゲットを絞って観光ルートをつくる。
- ・核となる観光資源から「あご・あし・まくら」でつなげる。
- ・名古屋圏をターゲットとする。
- ・駅から周遊させる。
- ・体験でくくると「食」と「林」。自然では「紅葉」「桜」。
- ・観光シーズン以外の合間の時期を埋める観光ルートをつくる。
- ・恵那峡はストーリー性がある。
- ・神社巡りを「健康」や「恋愛」でくくる。
- ・笠置山では海洋深層水が出るらしい。
- ・恵那峡には水晶がある。

■検討事項

- ・ターゲット・テーマ別に地域の観光資源を生かした観光ルートを作り、今後必要な取り組みを導き出す。

3. 次回検討部会の開催について

○商工課「次回の開催日は後日お知らせします。」

4. 閉会